

事務事業評価資料

施策名		国際化に対応した教育の推進		所管部局課名	教育委員会事務局 高校教育課				
事業名		外国人による英語指導の充実		担当者電話番号	管理係 078-362-3776				
事業目的		県立高校生徒の英語の理解力、表現力の向上 県立高校教員の英語力向上							
事業内容		アメリカ合衆国、オーストラリアなど英語圏諸国から外国語指導助手(ALT)を受入れ(100人)			事業開始年度	昭和62年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(754,015 千円) 754,015 千円		(516,781 千円) 516,781 千円		(505,034 千円) 505,034 千円			
	人件費	3,566 千円	従事人員 0.4人	2,541 千円	従事人員 0.3人	2,508 千円	従事人員 0.3人		
	総コスト(+)	757,581 千円	従事人員 0.4人	519,322 千円	従事人員 0.3人	507,542 千円	従事人員 0.3人		
事業の目標		全県立高校における外国語指導助手の配置			[目標設定理由] 生徒の英語の理解力、表現力の向上のため、全県立高校で実施				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	外国語指導助手指導校数	全県立高校に配置・訪問	毎年度	156校 (4,856 千円)	156校 (3,329 千円)	153校 (3,317 千円)	100%	100%	100%
評価結果	必要性	・経済・社会等のグローバル化が進展する中、生徒が21世紀を生き抜くためには、国際的な共通語となっている「英語」のコミュニケーション能力を身につけることが必要である。							
	有効性	・全県立高校に配置・訪問し、生徒の英語の理解力等を図っており、有効な事業である。 ・全県立高校でネイティブスピーカーから直接指導を受けることにより、高校生対象のスピーチやディベート等のコンテストへの参加者数も増加している。 ・レベルも年々向上するなど、生徒の英語理解力・表現力の向上や異文化理解への態度の育成につながっている。							
	効率性	・配置の重点化を図るなど工夫を行うことで、事業効果を維持しつつ、地方交付税算定方法の変更にあわせて、144人から100人への見直しを行った(平成20年度)。 ・これまでの外国語指導助手の活用実績を踏まえ、効率的な配置・訪問校の調整を進める。							
	民間・市町との役割分担	・外国語指導助手の募集・選考・赴任時の渡航調整は、(財)自治体国際化協会において、一体的に行っている。							
	受益と負担の適正化	・授業の一環として実施するものであり、新たな負担を求めるものではない。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
実施方針	説明	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他							
	説明	・より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討のうえ実施							